事務事業評価表(一般事業)

評価対象年度平成29年度1次評価日(主幹等)30 年 3 月 30 日2次評価日(課長等)30 年 3 月 30 日

1 事業名	防災無線管理事業	コード	91302

 2 担当部課
 部等
 総務部
 課等
 危機管理室
 作成者
 小林
 隆志

	□ 基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全	らしが調和した、安全・安心なまち		
	体 政 策	安全・安心な暮らしの確保	施 策	危機・防災・減災対策の推進	
3 事業概要	予算科目	防災無線事業費	業務委託	一部委託	
	実施義務	あり(義務的・標準的事業)	国県補助	あり	
	根拠法令	電波法			

●事業の内容 (D0)

5 事業の実施内容

*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容

1 適正な機器管理

防災行政無線(同報系·移動系)、J-ALERT、県衛星系防災行政無線、監視カメラ、雨量計、 緊急地震速報端末、デジタル簡易無線、衛星携帯電話の管理

- 2 防災ラジオの販売等 販売、故障における電話及び訪問対応 平成29年度販売台数 178台(延べ14,321台)
- 3 メール配信@おかや登録勧奨 平成29年度末登録軒数:6,309件 登録拡大に向けた随時の登録勧奨の実施
- 4 雨量監視体制の確保 雨量計11台、河川監視カメラ2台 気象業務法に基づき、8台の雨量計の更新工事による適正な整備を実施
- 5 雨量情報の提供

住民の防災・減災意識の向上と情報提供の拡充を図るとともに、住民の自主的な水害防止活動や 避難行動に活用

- 6 J-ALERT (全国瞬時警報システム)の試験放送対応 7月5日、11月14日、3月14日の3回、全国一斉試験放送参加及び月例で導通確認
- 7 デジタル簡易無線による各区等との通信訓練 毎月第2火曜日実施

前年度の課題への 対応

- ・防災行政無線(同報系・移動系)のデジタル化に係る計画を立てた。
- ・雨量計8台について更新工事により適正な整備を実施した。

6 指標の達成状況 *活動指標:この事業の規模、成果指標:この事業によって得られる住民の満足度

	区分	27年度	28年度	29年度	30₹	丰度 (予算)
(1)活動指標(指標名)	無線局設置数			単位	基
	実績値	44	44	44		
	* 指標の説明	防災行政無線屋外子周	曷(スピーカー)の設	置数	-	
2) 成果指標(指標名)	放送日数			単位	日
	目標値	366	365	365		365
	実績値	366	365	365		
	達成度	100.0%	100. 0%	100. 0%		
	* 指標の説明	防災行政無線による加	汝送日			
L	* 目標値の設定方法の説明	毎日				

7 ア) コストの推移 * この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

I	区 分	27年度	28年度	29年度	30年度 (予算)
	① 直接事業費	3, 021, 181	12, 789, 193	4, 869, 446	11, 994, 000
ı	経常経費	918, 141	2, 705, 097	2, 951, 366	2, 694, 000
	臨時的経費	2, 103, 040	10, 084, 096	1, 918, 080	9, 300, 000
ı	* 臨時的経費の説明	防災行政無線子局及7	び雨量計バッテリ交換	、雨量監視システムの	

Г		区 分	27年度	28年度	29年度	30年度 (予算)
C	② 人件費	Ì	3, 200, 000	3, 200, 000	3, 200, 000	3, 200, 000
	正規聯	战員の人数 (人)	0. 40	0. 40	0. 40	0. 40
C	3) 合計=	スト (1+2)	6, 221, 181	15, 989, 193	8, 069, 446	15, 194, 000
	前年度			257. 0%	50. 5%	188. 3%
	財源	一般財源	6, 221, 181	15, 989, 193	6, 669, 446	12, 394, 000
	内訳	特定財源			1, 400, 000	2, 800, 000
	* 特定	≧財源の説明	防災対策事業債			
(活動一 	-単位あたりコスト	93, 594	134, 207	139, 804	
	前年度			143. 4%	104. 2%	
(i	コスト	に関する補足説明				

イ)補助金負担金の状況

[単位:件、円、%]

[単位:円]

補助金負担金名		27年度	28年度	29年度	30年度 (予算)
防災行政無線管理負	件数	1	0	0	1
担金	金額	23, 726	0	0	65, 000
無線電波利用負担金	件数	109	109	109	109
無	金額	77, 280	77, 280	68, 000	66, 000
長野県防災行政無線	件数	0	1	0	0
設備更新工事負担金	金額	0	8, 667, 136	0	0
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金	合計金額	101, 006	8, 744, 416	68, 000	131, 000
等合計金額及び割合	割合	3. 34%	68. 37%	1. 40%	1. 09%

^{*} 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価 (CHECK)

8	妥当性評価 * 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。 妥当性	高	<u>い</u>
	評価項目	はい	いいえ
	① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
	② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
	③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
	4 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
	⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9	有効性評価 * 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。	直	<u>い</u>
	評価項目	はい	いいえ
	1 この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
	② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
	③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
	④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比 100.0%	1	
	⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度 100.0%	1	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

題

(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)

- 防災行政無線のデジタル化に向けての計画に合わせた取り組みについて進める必要がある。
 - ①機器の維持補修・・・基地局機器、バッテリー交換、スピーカーの落下防止など老朽化への対応
- ②「メール配信@おかや」登録拡大・・・防災ラジオに代わる個々の情報収集手段
- ・雨量計の維持補修…設置場所により電波が弱くバッテリ交換時期が早い。

(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)

- ・防災行政無線のデジタル化については、国や県の動向(方針や助成制度等)に注視するとともに総合通信局との連携を保つ。
- と、・機器の保守点検等により、適正な管理運用を実施する。
- - ・雨量計について、ホームページに掲載している雨量情報の日々の確認を行う。

改善開始時期 平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による30年度の優先度 *H28年度施策評価表より転記すること	В
-----------	--------	---	---